



## 小島友実の あの馬の STORY

### ジュエリージュエリー



2023年3月5日・阪神 初勝利のウイナーズサークル

野中賢一厩舎所属の「ジュエリージュエリー」がデビューレース戦となりました。この日阪神ダート1800メートル戦で初勝利をマーク。母エイシンババの産駒である兄たちの頭もすぐりグリーンファーム所属馬で、全馬がアーバガ大井競馬で勝ち上がりであります。が、「アーバガトリーもそれだけ続形となつました。

野中調教師がグリーンファームの馬を預かるのは今回が初めて。1歳馬募集の時から、「馬格があり、品のいい良い馬。体のハリが良いくらい」と評価してきました。1歳から2歳にかけて大怪我などはありませんでしたが、3歳になつたのがデビューにならなかったのは野中調教師の予想外でした。

「まだ身軽で、部分がありませんでしたからね。またオルフェーヴル産駒の牝馬で、気性面で心もしない部分があり、基礎体力などの向上も含めて、じっくり時間を見せてやつてきました」

デビュー戦は今年2月18日の阪神戦

ダート1800メートル戦。結果は2着でした。

「体に緩さがあるし、気持ちの面でも成熟していない部分があったので、広い馬場で走らせたいと思いつの条件を選択しました。スタートで立ち遅れて、最後方からの追走。それでも国分恭介騎手が腹を括つて後ろから行き、しっかりと脚を使つてくれました。負けて強しの内容。素質はかなつあると感じましたね」

初戦後の予定は状態により決めようと思つたのですが、「初戦後のところ

が上がつてしまはず、間を開けながらもスンバ一次第で続戦した方がヤングはあると想えました」ということで、3月5日の阪神戦へ向かいました。

「初戦の前もこの戦の前もゲート練習をしています。戦前の時は1週間してからも、練習時の安定感はまだ危うい面があります。でも実戦では必ずゲートを切つてくれましたね。2番手についたのが、相手関係や命

で負けながつたうなど。初めて預かりて頂いたグリーンファームの馬で初勝利を挙げたことが目標で、本当に限られたことを評価してもらつてきました。

現段階での馬のポテンシャルをどう評価してもらつたのか伺いました。

「伸びていて、身上に素質がある印象です。まだ体がしっかりして、股関節で勝ち上がりませんでしたが、これはその後の能力を推し量る意味でとても大事なポイントです。じつのも、能力の高い馬は必ずしも結果を出しきれる馬が多いですね」

「パトロールの現在の一一番の長所などはひじ見つづれです。馬格があるといつたのです。オルフェーヴル産駒で成長力があると思つて、中身が伴つてれば精神的にも満足感がでてくるでしょう。心身ともに奥が深く、成長力がある」と感じています。

「成長力があつたと感じています。走りが速く、力強い馬になりました。負けて強しの内容。素質はありました。スタートで立ち遅れて、最後方からの追走。それでも国分恭介騎手が腹を括つて後ろから行き、しっかりと脚を使つてくれました。負けて強しの内容。素質はありました。走りが速く、力強い馬になりました。この路線の実績や経験の豊富さにも期待しています。

人が乗つて調教に向かう時などに躊躇い面を見せますね。これは気が悪いため、まだ体がついていないことに対する不安です。だから、体と心がしっかりと成長していくければ、気持ちは落ち着いて、面白い馬になります。手応えを持つてもらわ

る」と感じています。その先の3勝クラスのダート向きだしました。現状では中距離が合っているです。具体的には状態や今後の進み具合を見ていきたいです。1勝クラス2勝クラスが牝馬限定戦があるのに、体が大きくなればクリアしきれると感じています。

「6月の阪神戦での復帰を考えています。品物の仕事で走法なので、やはり勝つつべ2勝つべが牝馬限定戦があります。馬が大きくなるからこそ、勝つつべがポイントにならざるを得ないですね」

最後にメッセージを頂きました。

「成長力があつたと感じ、奥深さがあると感じられる馬です。ですから長い目で見てあげてほしいなと思います。人の都合や条件を重視して馬を作つてしまつて、成長を止めてしまう可能性があるで、成長を見極めながらやつてこられたことが、成長を見極めながらやつてこられたことがあります。応援して下さること

野中厩舎はこれまで、イントレイやグリーンなど、ゲートの活躍馬を多数輩出してきました。この路線の実績や経験の豊富さにも期待しています。